

★…地域課題としてとらえているもの

第1回台東区障害者地域自立支援協議会資料

	No.	主な取り組み	意見・質問など	事業所名
基本目標Ⅰ 共生社会実現に向けた取り組みの推進				
施策の方向性2 情報アクセシビリティの向上及び障害者の意思疎通支援の充実				
施策1 情報アクセシビリティの向上				
1	10	障害者のデジタル・ディバイド解消の推進	気軽に携帯ショップに相談行くことが難しいため、通所先で職員が相談を受けることが多い。職員では本来業務もありサポートに限界があるため、当事者が気軽に相談できる仕組みを作してほしい。	ささら
施策3 多様な意思疎通手段の理解と利用の促進				
2	21	選挙における投票環境の整備	選挙の案内は文字がほとんどで障害特性によっては、わかりにくいものもある。具体的に想像しやすいようなイラストで表現するなど投票に行きやすいよう当事者向けの案内を検討してほしい。	ささら
3	23	図書等の宅配サービス	個人宅への宅配では対応できない当事者もいるため、福祉事業所への宅配も検討してほしい。	ささら
施策の方向性3 誰もが平等に参加できる社会の推進				
施策2 障害者団体自主活動支援、文化活動支援				
4	30	障害者アートの推進	休業日を使えば、事業として参加はできるが、支援者探しを含めご利用者が自ら遊びに行くにはハードルが高い。最寄駅からの経路やバリアフリー情報などを分かりやすく掲載するなど、一歩踏み込んだ案内を作してほしい。	ささら
5	31	文化活動への支援		

★…地域課題としてとらえているもの

第1回台東区障害者地域自立支援協議会資料

	No.	主な取り組み	意見・質問など	事業所名
		施策の方向性4 防災・安全・バリアフリーのまちづくり		
		施策1 防災・防犯対策の推進		
6	41	在宅避難支援の推進	当事者一人暮らしなど、避難グッズや非常食をそろえることが難しい方も多くいるため、区から必要物資の給付をしてほしい。	ささら
7	43	災害時における、共助の仕組みづくりの推進	・BCP(事業継続計画)策定に基づき、福祉関連事業所どうしの防災訓練の実施を行政の立場からも啓発してほしい。 ・毎年グループホーム入居者と町会の防災訓練に参加しているが、長時間(3~4時間)にわたる訓練のため、疲れて途中離脱してしまう。当事者の参加を意識したもう少し短時間の防災訓練もけんとうしてほしい。	GHもとあさ チェリーハウス
		基本目標Ⅱ 地域生活支援の充実		
		施策の方向性5 相談支援の充実		
		施策4 住宅相談等の支援		
8	64	住宅セーフティネットの推進	グループホームの退居に当たり、一人暮らしを希望されたため居住支援協議会に相談、居住支援法人を紹介されたが、精神障害があること、家賃の折り合いがつかずほとんど物件紹介されなかったという現状がある。この点、何らかの支援体制を検討してほしい。	チェリーハウス
		施策の方向性6 障害者や家族を支える多様なサービス提要体制の整備		
		施策1 在宅生活を支えるサービスの充実		
9	68	ショートステイ（短期入所）の整備	希望しても利用が困難な状況が続いているため、多岐に渡る多くのニーズに対応できるように、整備を進め必要としている方が利用できるようにしてほしい。	ヘルパーセンターほおずきほおずき ささら

★…地域課題としてとらえているもの

第1回台東区障害者地域自立支援協議会資料

	No.	主な取り組み	意見・質問など	事業所名
10	70	重症心身障害児（者）等在宅レスパイト・就労等支援事業	受入れがなかなか進まない現状を重く受け止め、近隣区も含めて救急対応等の緊急時に重症心身障害児者を受け入れる医療体制（入院および通院）のネットワークを整備してほしい。	GHもとあさ
11	72	精神障害者への都型ショートステイ事業	医療が必要かどうかの見極めが必要となるが、職員がいる安心感もあるため職員滞在型のショートステイを検討してほしい。	ささら
	施策2 居住環境の整備			
12	75	精神障害者グループホームの運営	グループホームを希望しても、入れない人が多い。滞在型のグループホームを増やしてほしい。通過型の3年では、一人暮らしのスキルは身につかないことが多いため、もう少し時間をかける必要がある。特に女性の滞在型がないため、他自治体に行く必要があるが、生活の場所を変えずに地域に移行できるのが望ましい。	ささら チェリーハウス
	施策4 障害者の高齢化への対応			
13	79	共生型のサービスの推進	・ 障害福祉サービスの利用者が介護保険の適用になった場合、利用できる回数がどう変わるのか、どの程度利用者負担が増えるのか、また、事業所にとってはどれくらい収入に差が出るのかなど明確にしてほしい。現状だと事業所側にも利用者側にもメリットがないように思える。 ・ B型の利用者の高齢化が進み生活介護に移行する人もいる。B型の利用者の平均年齢が50代ときいており、高齢化は必至であるため、今後を見据え生活介護の増設を検討してほしい。	ささら GHもとあさくさ
	施策5 リハビリテーションの実施			
14	80	中途障害者への機能訓練	★ 高次脳機能障害の方が増えているが、支援制度が整っていない。相談支援や機能訓練等の支援体制を整備してほしい。	ささら

★…地域課題としてとらえているもの

第1回台東区障害者地域自立支援協議会資料

	No.	主な取り組み	意見・質問など	事業所名
		施策の方向性7 障害福祉人材の確保・育成・定着支援		
		施策1 サービスを担う人材の確保・資質向上		
15	81	人材確保・定着に向けた取り組みの推進	・介護職等就職フェアで、障害分野の職員募集も行っているが、うまくマッチングしないように感じたため、障害者施設に特化した就職フェアも開催してほしい。 ・介護職等就職フェアの参加者が思ったよりも少ないため、集客にもっと力を入れてほしい。	チェリーハウス ささら
		施策2 ヘルパーの養成		
16	84	ヘルパーの養成促進	★ 日中活動や余暇活動の選択肢を広げ、日々の生活を充実させる為には移動支援のサービスが欠かせない。移動支援が利用できずに日常生活が制限されている人が多くいるが、利用者・ヘルパーともに高齢化しており、引き続き人材育成を進める必要がある。移動支援事業者への区独自の処遇改善制度やヘルパーへの給付金制度などを検討してほしい。 また、最低賃金が上場し続ける中で、事業所の負担も増えているため人件費を補うための制度を構築してほしい。	ヘルパーセンターほおずき
17			利用者のニーズに応じていくためには、より多くのガイドヘルパーを養成していく必要がある。ガイドヘルパー養成研修の広報活動について、より多くの人の目にとまるよう、SNS等様々な媒体を活用し周知を徹底してほしい。	ヘルパーセンターほおずき

★…地域課題としてとらえているもの

第1回台東区障害者地域自立支援協議会資料

	No.	主な取り組み	意見・質問など	事業所名
	基本目標Ⅳ 自立や生きがいに結びつく就労支援の充実			
	施策の方向性11 就労の場と機械の充実			
	施策5 福祉的就労をしている障害者への支援			
18	127	移動支援の充実	★ ・土日のイベントに行きたくても移動支援のサービスが受けられない状況にある人が多いため、移動支援サービスを充実させてほしい。 ・利用者、ヘルパーともに高齢化しており、安全確保のため常に身体を支える必要がでてくる利用者と、だんだんそれに対応することが難しくなっていくヘルパーがどちらも増えている。移動支援の外出中でも気軽に安全に休憩ができるよう、サービス時間内での室内見守りを認めてほしい。	ささら ヘルパーセンターほおずき